



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



5月号



季節（七十二候）の上では、牡丹華（ぼたんはなさく）を迎えようとしています。「百花の王」と呼ばれるほど、色も大きさも香りも堂々たる牡丹ではありませんが、校庭のあちらこちらに、いつの間にか芽を出し、花を咲かせている、名もない小さな花が見かけられるようになりました。その小さな花を両手で大事そうに抱え、しおれないように水をかけたり、そっと教室に持っていったりする子どもたちに出会います。おうちの方に見せてあげたいという優しい気持ち、季節の移り変わりを愛でる心・・・、子どもたちからは色々な思いが伝わってきます。小さな花からも、大切なことをたくさん教わり、心が育っていることを感じ取ることができます。

季節を感じられる学校にしていきたいですが、それとともに、子どもたち一人ひとりの笑顔があふれ、楽しく過ごせるように努めていきたいと考えています。

4月に新学期を迎え、新しい学年・クラス・担任・・・、たくさんの期待と不安に包まれた1ヶ月でした。特に1年生にとっては、環境が大きく変わり、エネルギーをたくさん使ったことと思います。ゴールデンウィークは、おうちの方と一緒に、心と体をリフレッシュして、また新たな気持ちで、さわやかな5月を元気よく過ごすエネルギーを充電してほしいと願っています。



（校長 板坂 和明）



着任してから1ヶ月が経とうとしています。南林間小学校の子どもたちは、とても素直な印象です。中でも驚いたのが、6年生がとても積極的なところでした。委員会の時の様子を見ましたが、委員長に立候補する子どもたちが多く、立候補した理由も「こんな委員会にしたい。」などしっかりと伝えていました。次の日のなかよし集会の時には、低学年、中学年の子どもたちに、遊び方などを優しく教え、グループのみんなが楽しく過ごせるよう声かけをしていました。6年生がしっかり学校を引っ張っていけるよう成長していることにうれしく思いました。今後も子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

（教頭 大谷 幸司）